

アフリカにおける高等教育の展望

－E-JUST と JKUAT の経験と将来にむけて－

国際協力機構（JICA）は、5月31日、JICA 横浜にて、在京エジプト大使館と協同により、「アフリカにおける高等教育」をテーマにセミナーを開催しました。

本セミナーは、アフリカの持続的な成長をもたらす産業や科学技術の振興に、重要な役割を果たす高等教育の役割や機能に焦点を当て、地域の知の拠点となる高等教育機関がどのように貢献するかについて、JICA がこれまで協力してきたケニア国のジョモ・ケニアッタ農工大学（JKUAT）とエジプト国のエジプト日本科学技術大学（E-JUST）を事例として共有し、今後のアフリカの高等教育の在り方について協議することを目的に開催しました。



ケニア、エジプト、日本の大学と企業関係者が「アフリカの産業化のための高等教育」について議論

基調講演では、岡田東京工業大学副学長が、学生自らが創造性とモチベーションを高く持てるような革新的教育を目指していることを紹介し、アフリカからも多くの留学生が来日することを望むとメッセージを送りました。エジプトのハイリ E-JUST 学長は、大学の設立背景・構成・企業との連携等を紹介し、将来アフリカの発展に寄与する可能性があることを強調しました。また、インブガ JKUAT 学長は、民間連携の事例として日清食品との「Oishii Project」を紹介し、今後もバイオテクノロジーや化学分野の製品開発にも力を入れていきたいとの将来像を語りました。

角田学 JICA 国際協力専門員がモデレーターを務めたパネルディスカッションでは、「アフリカの産業化のための高等教育－科学・技術教育における経験と挑戦」と題し、国際社会で活躍する人材を育成する上での知見と高等教育への期待について、ケニア、エジプト、日本の大学と企業の関係者5名が議論を展開しました。吉川三菱商事常務は、アフリカ学生への奨学金の提供の取り組みの紹介とともに、高度人材の育成のためのシステム構築の必要性について提案しました。エジプトのハムザ高等教育省次官は、E-JUST と JKUAT は産業界と大学の連携事例として成功モデルであり、大学と企業との共同研究の推進やアフリカの大学間パートナーシップの構築をすすめることがアフリカの産業化に貢献すると主張しました。

今回のセミナーの結果、アフリカの持続的な成長には、大学と企業との連携強化、大学間のパートナーシップが重要である点が再認識されました。JICA が協力してきた E-JUST や JKUAT の事例のように、今後アフリカ諸国においても、大学と企業の連携強化や大学間パートナーシップの強化が促進されていくことが期待されます

【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

■本イベントの登壇者

【パネリスト】

- ・ケニア共和国 ジョモ・ケニアッタ農工大学 インブガ学長
- ・エジプト共和国 高等教育省 ハムザ次官
- ・エジプト日本科学技術大学 ハイリ学長
- ・白井克彦 早稲田大学学事顧問（前総長）
- ・吉川恵章 三菱商事株式会社常務

【モデレーター】

- ・角田学 JICA 国際協力専門員